

神戸ひきこもり支援室 概要

令和6年度 神戸市介護保険事業者説明会（集団指導）

BE KOBE

開設日 令和2年2月3日（月）

受付時間 月曜～金曜日 9：00～17：00
（土日祝日，年末年始を除く）

受付方法 【電 話】 ハヤ ク オー エン
 # 8 9 0 0

つながらない場合 078-361-3521

【Eメール】 hikikomori_shien@city.kobe.lg.jp

【来 所】（要予約）総合福祉センター1階（中央区）

【F A X】 078-361-2573

【オンライン】

支援体制 市職員3名 相談員6名（うち学校担当相談員1名） 計9名
※その他 非常勤精神科医1名



相 談 室



ひきこもり支援室HP

※ ケアマネジャー等担当の相談員も配置しています。



○初回相談実数 458人（男75%、女25%）

○相談件数（延べ） 3,065件

○初回相談者

種別	人数	割合
本人	101	22.1%
親	293	64.0%
きょうだい	26	5.7%
その他親族	4	0.9%
支援機関	32	7.0%
その他	2	0.4%
不明	0	0.0%
合計	458	100.0%

○対象者年代

年代	人数	割合
10代	77	16.8%
20代	141	30.8%
30代	102	22.3%
40代	75	16.4%
50代以上	63	13.8%
不明	0	0.0%
合計	458	100.0%

○ひきこもり期間

期間	人数	割合
～6か月	34	7.4%
6か月～1年	48	10.5%
1年～3年未満	85	18.6%
3年～5年未満	45	9.8%
5年～10年未満	71	15.5%
10年以上	138	30.1%
不明	37	8.1%
合計	458	100.0%

※家族からの相談が約7割

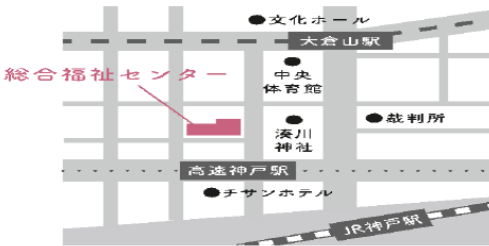


（別紙 1）ひきこもり相談リーフレット （家族配布用一部抜粋）

ひきこもり相談の約7割はご家族からです
「ひきこもり」は決して個人や家族の責任ではありません
一人で抱え込まずに、お早めに悩みをお聞かせください

（相談例）

- ・こどもが部屋に閉じこもったまま出てこない
- ・こどもとどう接したらよいかわからない
- ・親なき後の生活が心配
- ・仕事をしたいが、どうすればよいかわからない
- ・誰かに自分の話を聞いてほしい



神戸ひきこもり支援室

時間 平日 9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）
場所 神戸市中央区橘通3丁目4番1号 総合福祉センター1階
TEL **#8900** つながらない場合は 078-361-3521
MAIL hikikomori_shien@city.kobe.lg.jp

来所面談を継続的に行います
月2回、各区役所への出張相談も実施しています

（別紙 2）ひきこもり支援マップ （支援者向け）

ひきこもり支援マップ（支援者向け）

ひきこもり状態の人がいる世帯には、複数の課題が存在し相互に影響しあっています。一つの窓口だけでは解決が難しく、関係機関が横の連携を行い支援する必要があります。ひきこもり支援にかかわる関係機関をまとめました。

2022年11月作成
2024年 8月更新（第三版）
神戸ひきこもり支援室

相談受付時間 月曜～金曜日
9:00～17:00
受付方法：電話 #8900（ハヤクオーエン）
来所、オンライン、
Eメール
hikikomori_shien@office.city.kobe.lg.jp

目次 1. 関係機関一覧表 P2～10

- ・相談窓口として、ひきこもり支援室があることをご紹介ください。
- ・職員の皆さんが対象者を把握した時点で、どのような働きかけや準備をしておくべきかご相談いただくことも構いません。
- ・ご家族に相談意向がある場合、職員の皆様より事前に情報提供していただけると助かります。
- ・支援にあたり、本人の変化や改善には時間がかかります。ご家族には本人のタイミングを焦らず待つことが大切であるということをお伝えください。
- ・ご相談は、ケアマネジャー等担当相談員までお願いします。

